



同窓会長御挨拶



京二中鳥羽高同窓会会長 内田 昌一

私は、昭和十九年（一九四四）四月京都府立第二中学校入学翌年 二年生の八月十五日終戦昭和二十二年（一九四七）四月四年生の時学制改革六、三、三制にて京二中は、新制中学校になり、私達は第一工業高校（現洛陽工業高校）に移り二部制（午前中、京二中生の授業の時は、午後は第一工業の生徒の授業）となった。京二中は洛南高校となった。

その年の十月一日を期し、男女共学制となり、洛南高校（京二中）生はバラバラになり、私は、洛陽高校普通科へ編入した。（普通科三組、商業科一組、工業科十数組あった。）

私は翌年、洛陽高校を卒業した。（二期生）京二中に入學したが、卒業にならなかつた者は、私達と一年下級生、二年下級生の三学年のものだった。ほんのわずかしが京二中生ではなかつたが、なぜか京二中に対して大変な愛着があつた。

卒業してからずっと後に、京二中入学五〇周年を記念して、私を中心となり、府教育長にかけ合い、卒業証書を当時の池田靖校長から涙し乍らいただいた。

当時、京二中同窓会副会長をしておられた橋本奈良二先輩から、京二中鳥羽高同窓会長をやれと云われた。卒業もしていない私には資格がないと断つたが、京二中と鳥羽高校の橋渡しをやれと云うことで、引き受けることになった。

三十八年間ブランクが有り、鳥羽高卒業第一期生は、昭和四十三年生まれで、現在四十三才、大きな年齢差があつた為なかなか鳥羽高卒業生へのバトンタッチが出来なかつたが、やつと第一期生の山内健也さんに引き継ぐことが出来そうだ。

今は亡き橋本奈良二先輩にやつと責任を果たせると報告が出来ることが、大変嬉しいことだ。

何故それ程まで京二中に愛着があるのか私には明確に云えないが中山校長の文武両道、質実剛健の教育に憧れたとしか云えない。鳥羽高校歴代校長先生のご指導のもと、文武両道、質実剛健は、今の鳥羽高校に既に引き継がれている。大変嬉しい。鳥羽高校が大いに翔くことを期待している。



内田会長と山内副会長

先駆の誉れ



京二中鳥羽高校同窓会顧問 小田垣 勉

京二中鳥羽高校同窓会員の皆様には、鳥羽高校の教育活動に御理解と御支援を賜り誠にありがとうございます。京二中の栄光の歴史と伝統を継承し、昭和五十九年に開校した鳥羽高校は、同窓会員の温かい視線に見守られ、二十八年間の教育実践を積み重ねて今日に至ります。明治三十三年に創立された京都府第二中学校の校風は、今も鳥羽高校の様々な教育活動に大きな影響を与えています。とりわけ「文武両道」と「質実剛健」は、鳥羽高校の校風としてしっかりと根付いてきたように感じています。

さて、校歌にも歌われる「先駆の誉れ」を代表するものに、大正四年夏に開催された「第一回全国中等学校優勝野球大会」の優勝記念旗があります。本年度の同窓会事業として、この優勝記念旗を写したクリアファイルが制作され、十月十五日の創立記念日に全校生徒に贈っていただきました。京二中の栄光の歴史と伝統をしっかりと継承し、そして、さらに発展させて欲しいとの同窓会員の願いが込められたものであり、生徒諸君には是非その熱い思いをしっかりと受け止めて欲しいと思います。

今後とも、鳥羽高校のすべての生徒諸君が、甲子園大会の初代覇者の系譜に連なる者としての誇りと自覚を持ち、学習と学校行事や部活動等を高い次元で両立させる鳥羽式「文武両道」の実践を通して、大きく成長していくことを願っています。京二中鳥羽高校同窓会員の皆様の、鳥羽高校の教育活動に対するさらなる御支援をお願いするものです。

卒業生のみなさんへ



京二中鳥羽高校同窓会副会長 山内 健也

私が卒業したのは二十五年前の話ですが、鳥羽高校での思い出は、今も新鮮に私の心に生きています。十代半ば過ぎの多感な時期に、友人や先生方との交流の中で感じ、悩み、考え抜いたことや、将来進むべき道について真剣に向き合った経験が、社会に出て今尚、自分の心の柱となっているからです。

卒業生のみなさんは、一人一人違う思い出を胸に、次の更に大きな社会へ踏み出そうとしています。何かを達成した人も、悔しい思いを残した人も、その経験を力に代えて、頑張り続けて欲しいと思います。壁に突き当たったと感じる時には、学校へ恩師を訪ねるのもいいでしょう。同窓会で先輩や大先輩に話しかけてくれてもいい。突き当たる壁が多いだけ、乗り越えた時には自身の成長も感じられるはずですよ。

これまで自分を育んでくれた人との縁を支えに、これから自分を正しく導いてくれる縁を大切にして、社会から必要とされる人間に成長されることを願っています。これは私自身もそうありたいと思うところです。そして将来、「鳥羽高校での三年間があったて良かった」と、みなさんの心に残っていることを願っています。その時には同窓会で、みなさんの経験を後輩たちに語って下さい。

第一章 総則

第一条 本会は、京二中鳥羽高校同窓会と称し、その本部を京都府立鳥羽高等学校内に置く。

第二条 本会は、会員相互の友誼を深め、母校の発展に貢献することを目的とする。

第二章 会員

第三条 本会は、下記の会員をもって構成する。

一 正会員

* 京都府立京都第二中学校卒業生

* 京都府立鳥羽高等学校全日制卒業生

* 両校に在学した者で、会員の紹介により理事会が入会を承認した者

二 特別会員

両校現旧教職員、または理事会の推薦する者

第四条 会員は、住所、氏名、その他名簿記載事項に変更のあった場合は、本会に通知しなければならぬ。

第三章 役員

第五条 本会に下記の役員を置き、任期は各二年とし、重任をさまたげないものとする。

一 名誉会長

会員の中から理事会の議を経て会長が推挙する。

二 会長

正会員の中から一名を理事

会が推挙し総会で選出する。

三 副会長

両校ごとの正会員の中から若干名を会長が指名する。

四 理事

両校ごとの正会員及び特別会員の中から若干名を、また、ほかに母校の現職員の特別会員の中から幹事会の推薦によって会長が委嘱する。

五 幹事

正会員の中から原則として卒業年度ごとに二名を選出する。

六 監事

正会員の中から二名を会長が指名する。

七 顧問

母校現職校長を推し、また、会員の中から会長が推挙する。

第六條

役員の仕事は次のとおりとする。

一 名誉会長及び顧問は、会務運営について必要な助言を与える。

二 会長は、本会を代表し会務を統括する。また、総会、理事会、幹事会を招集してその議長となる。

三 副会長は、会長を補佐し会長に事故ある時は代行する。

四 理事は、理事会に出席して

会務を協議、執行する。理事のうち、会長の指名する若干名で本会の庶務会計に関する日常事務を担当する。

五 幹事は、その卒業年度の会員の連絡に当り、また、幹事会に出席し、理事会の決議に基づき会務を担当する。

六 監事は、会計に関する事項を監査する。

第四章 事業

第七条 本会は、その目的を達成するために、下記の事業を行う。

一 総会

毎年、京都市において開催する。必要のある場合、随時、臨時総会を開く。

二 理事会、幹事会

必要なきに開く。理事会において適切と認め

三 事業

る。

第五章 会計

第八条 本会の経費は、会費、寄付金、事業収益金、財産収益金、その他をもって、これにあてる。

第九条 正会員は、卒業時に終身会費を納入する。その額は理事会において定める。

第十条 総会及び各種集会に要する経費は、そのつどこれを定め、原則として出席者から徴収す

る。

第十一条 本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

第十二条 会計及び事業報告は、総会においてこれを行う。

第六章 支部

第十三条 会員の多数存在する地方に本会支部を設けることができる。

支部の設置及びその規約は、理事会の承認を得なければならぬ。

第十四条 支部は、その代表者より支部会員の名簿、役員の氏名並びに会務概況を本部に報告し、常に本部との連絡を保たなければならない。

第十五条 規約の変更、理事会の決議によってこれを変更することができるが、次の総会において、その承認を得なければならない。

第十六条 規約は、昭和六十一年度卒業の正会員の終身会費は、三〇〇〇円とする。

第十七条 本規約は、昭和六十二年四月一日から実施する。

第十八条 附則

昭和六十一年度卒業の正会員の終身会費は、三〇〇〇円とする。

本規約は、昭和六十二年四月一日から実施する。

昭和六十一年度卒業の正会員の終身会費は、三〇〇〇円とする。

本規約は、昭和六十二年四月一日から実施する。

昭和六十一年度卒業の正会員の終身会費は、三〇〇〇円とする。

本規約は、昭和六十二年四月一日から実施する。

京二中鳥羽高校 同窓会役員名簿

役職	期	氏名	役職	期	氏名
顧問		校長 小田垣 勉	監事	京二中43	坂本 陽彦
会長	京二中49	内田 昌一	監事	鳥羽3	谷内 伊吹
副会長	京二中45	國井 和扶	理事	京二中46	高山 寛
副会長	京二中51	九條 道弘	理事	京二中47	向井 博一
副会長	鳥羽1	奈佐 和也	理事	京二中48	那須 信孝
副会長	鳥羽1	山内 健也	理事	鳥羽15	市川 靖久
副会長	鳥羽3	乾 明紀	理事	事務長	谷口 隆一
副会長	鳥羽5	岩佐 隆之			

平成 23 年度卒業生 同窓会幹事紹介

◎松本誠志朗	◎竹内 美穂
高橋 沙葵	島村 早貴
木村 唯	渡邊 雄也
内田 右京	藤田 礼人
岡田 拓馬	當原あずみ
蘆田 尚士	齊藤 達也
西 美咲	安田 彩乃
大藪 嘉文	南出 政之

京二中鳥羽高校同窓会総会・懇親会のお知らせ

例年、下記の要領で同窓会・懇親会が開催されます。閉会后同期生による二次会も行われております。

日時 11月3日(祝日) 午前11時:受付/午前11時30分:開会

場所 京都タワーホテル9階

詳細は、各卒業期の幹事に問い合わせるか、京都府立鳥羽高等学校までお電話ください。

関東京二中鳥羽同窓会の御紹介

京二中鳥羽高校の卒業生は関東でも強い絆で結ばれていて、毎年秋に東京で同窓会を開催しています。今年も11月に集まる予定です。

詳細は「関東京二中鳥羽同窓会」のHPを御覧ください。

HPのURL <http://kntk2ctoba.blog135.fc2.com/>

メールアドレス knt.k2c.toba@gmail.com

同窓会副会長 奈佐 和也



鳥羽高校硬式野球部選抜出場を祝して!!

鳥羽高校硬式野球部が近畿地区代表として第84回選抜高校野球大会に出場することとなりました。今回の甲子園出場は、11年ぶりの慶事であり、この上ない喜びとするところです。

私達同窓会は鳥羽高校硬式野球部の甲子園での活躍を応援し、PTA、PTA鳥羽会、野球部OB会並びに保護者会で甲子園出場支援推進委員会を立ち上げ、様々な支援活動を行っております。

皆様の御理解・御協力を宜しくお願い申し上げます。

同窓会会長 内田 昌一



京二中鳥羽高校同窓会

〒601-8449 京都市南区西九条大国町1 TEL (075) 672-6788 FAX (075) 691-7448
<http://www.kyoto-be.ne.jp/toba-hs/> E-mail toba-hs@kyoto-be.ne.jp